

埼玉県新座市シルバー人材センター会報

ゆうゆう通信

2024年1月15日 第118号

令和6年(2024年)1月15日 第118号



ほころび出した白梅(野火止1丁目)

— 目次 —

- | | |
|----------------------------|---|
| 2頁 新年のご挨拶
「こころおいずに軽やかに」 | 8頁 言いたい放題 時事呆言
現金派? それともキャッシュレス? |
| 3頁 新年にあたって一言
会員の皆様からの声 | 9頁 ゆうゆうエンタメ
沈黙の艦隊/沢田研二 LIVE 他 |
| 4頁 ルポルタージュ 統一ボランティア活動 | 10頁 追悼 瀧島浩二氏 |
| 5頁 レポート 児童見守り | 11頁 親睦会だより |
| 6頁 新・健康ニュース
誰でもなりうる認知症 | 12頁 SC掲示板
理事会報告/成年後見講座修了/事務局職員の紹介/編集後記/表紙の眩き |
| 7頁 研修会/講習会 | |



NS
SILVER

明けましておめでとうございます

— ころろ老いずに軽やかに —

理事長
福島 和男



センター活動に対する旧年中の会員の皆様のご協力に、心から御礼申し上げますとともに、私たちセンターを変わらずお引き立ていただきましたご発注者様の新座市、各企業そして市民の皆様に改めて御礼申し上げます。

「喜寿（77歳） 祝うに足らず傘賀（80歳） いまだ青春」はシルバ―人材センター創設者の大河内一男先生（元東京大学総長）の残された言葉。人生百年時代が叫ばれる今、改めてこの言葉の意味、そして素晴らしさをかみしめたいと思います。

個人的には、今年「喜寿」を迎えます。大先輩がたくさんいらっしやるセンターの中ではまだまだ若手。まずは傘賀としてそのさきに向かって心老いずに、軽やかに

生ければと願うところです。

《アフター》から《ウイズ》へ。コロナの新しい時代の中で、求められるセンターづくりの皆様に共に向かつてまいりたいと思えます。

皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

副理事長
石井 修



あけましておめでとうございます。会員とご家族の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

長期化したコロナ禍もようやく落ち着き、いつもの日常を取り戻しつつあります。

しかし、センターを取り巻く環境は厳しい状況が続いています。事務局及び会員の皆様の総力を結集してこれを取り切っていきたいと思います。

ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

専務理事
片山 佳則



新年、明けましておめでとうございます。皆さまには、健やかに新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

さて、センター事業運営においては、「会員の増強」そして「就業機会の拡大」の基本作業はもとより、昨年十月から施行された適格請求書等保存方式（インボイス制度）や本年秋頃に施行予定のフリーランス法に伴い、センターを取り巻く環境が大きく変化しております。

引き続き皆様の支援とご協力を賜りながら職員一同さらなる発展に向けて努めてまいります。皆様のおますますのご健勝を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



新年にあたって一言

会員の皆様からの声

今年も、植木剪定の仕事で皆が笑顔になり、自分も楽しく日々を過ごしたい!
野口 朋子 (畑中3丁目)

仕事やボランティア活動を通して、何時までも健康に、皆様の運気が上昇しますように。
可頼ひろ子 (あたご三丁目)

楽しく過ごす年月、清くはつらなる銀の龍あけ、学童と喜びあふる山口 虎吉 (栄1丁目)

生活環境から「何故」と考える力を身につけ、豊かな人生を送り、頑張る年寄り (elderly people) に変身です。
村山祐比古 (野火止7丁目)

昨年は膝とか腰に痛みが出てきたが、「ハンドメイド」に挑戦した。今年も十歳くらい若返るようなことに挑戦し、人生を楽しみたい。
峰岸直子 (大和田1丁目)

私は欲がないので、「幸」の字が私の昨年の漢字だとすれば、今年も平坦な「幸」の年であればいいと思っています。
東若子 (大和田二丁目)

今年こそは、寝台特急に乗り、お通路の旅に出かけたい!
寺島 洋子 (栗原2丁目)

前進前進、前ファイトです。今年もファイト頑張り村貴吉 (野火止7丁目)

今年も沢山の笑顔をもたらえるように、野菜づくりに励みたい。
西本正洋 (池田四丁目)



ルポルタージュ 統一ボランティア活動

◆第3地区

池田小学校内

2週間ほど前までは30度を超える真夏日が続いて辛かった日々が多かったですが、数日前から急に秋模様になりました。

今日は打って変わって秋晴れで絶好の「清掃日和」、近くの第3地区ボランティア活動を取材させて頂きました。池田小学校内の清掃ということ、9時に集合場所に指定されていた「ベガサス門」へ。

老若男女(?)が円陣を組んで、島村齋地区長さんから今日の作業内容の概要説明をうけていました。校内の扉周りの草取りが主とのこと。

事前に清掃の担当場所が決まっていたのか、作業開始の合図で会員の皆さんはそれぞれの持ち場へ。島村さんには少し時間を



雑草と悪戦苦闘

頂き班の活動などの様子を伺いました。

皆さんには色々な活動に積極的に参加していただき大変助かっているとの事。

私は作業の様子を見ながら写真を撮り、適当に退散をしようと思っていたのですが、フライング越しに作業を見ているとその場を離れる事に躊躇してしまい、カメラを仕舞って輪の中へ。暫く座り込んだ状態で、長く伸びた草や金網に絡み

合ったツル草との戦いが続きました。

悪戦苦闘をしていると、近くにいた女性も鎌を持って戦っていました。

「大変ですね、こんなに伸びて、シルバールの皆さんご苦労様です」と声を掛けて話をしていると、金網の外から「教頭先生、何やってんの」と子供の声。



班員と教頭先生 (前列左端)

私は驚いて振り向き「教頭先生ですか」と聞くと、女性の方は笑いながら「私も歳はシルバーですよ」と返事。草取りの汗が冷や汗に変わる大変な一日でした。

(館)

◆第14地区

上東公園ほか

朝から快晴! 気持ち良い「清掃日和」でした。第14地区は東2丁目の「上東公園」に10時集合だという。15分前に行つてみると身支度を整えた5、6人の方々がすでに来ており、10時5分前には参加者23人全員が揃いました。



手際よくゴミを集めてゆく

のベストを着て、ビニール袋とゴミ取りハサミを手に持って清掃に参加しました。皆さん手際よくゴミを集め1時間の間に大きいゴミ袋12袋、道路の植え込みの中のポイ捨ての多さに改めて驚きました。

前回は作業後に、公民館で懇話会(成年後見人について)が行われたが、今回は無し。作業が終わり次第即解散。懇話会の感想などをもう少し話が聞きたかったけれど……。

あまりの天気の良いに予定があつて雑談してる場合でなかったのでしょうか。お疲れ様でした。(小泉)



作業は無事終了、散会となりました

【レポート】 地域活動委員会

地域見守り活動は、センターが公益社団法人に移行する以前の平成18年1月にスタート。スローガンは「2400人の会員4800の目が子どもたちを守る」。当時の記録を紐解くと会員・事務局の熱い情熱がひしひしと伝わってくる。

それから凡そ18年が経過し、当シルバー人材センターの出身も少しずつ変容し、それに伴い児童見守り活動も当時の熱気が薄れ、諸々の事情により縮小又は一時中断する地区も出てきた。

28地区児童見守り

西堀小学校担当

そんな中、この28地区の見守り活動は色あせる事なく続けられている。「一時に燃え上がる情熱もあるが、小さくても燃え続ける情熱もある」吉行淳之介の言葉である。地区会員77名中22名がこの活動に携わり、西堀小学校を拠点として、3

地点で週2回、月にして4〜5週活動し、令和5年4月〜9月の上半期の集計で延べ256名が参加した。



何処にそんなパワーが潜んでいるのだろうか。その理由を石岡京子地区長さんと当時の様子を良く知る工藤藤章さんに伺った。

「この地区は元々地域互助の密度が高く、学校応援団としてPTAと連携し活動していたので既に下地が出来上がっていた。又、当時の地活リーダー達が非常に熱心であった事と、良き伝統として今に引き継いでいる会員一人一人の意識の高さがあったからと思う。」

今の懇話会でもこの活動を毎回大きく取り上げている」

令和5年上半期の集計で、28地区を含めSC地区全体で延べ2066名が参加した。この活動に携わっている会員の皆さんに温かい拍手を贈ります。(太刀川)

11地区児童見守り

東野小学校担当

東野小の見守り活動は三つの地区が担当しています。そのうちの1つ11地区は、浄水場前にある「野火止7丁目水道タンク交差点」で火・木曜日の週2回活動中です。

現在の参加メンバーは16名。交差点には毎回3名が立つので、各人が月に1、2回の参加です。荒天の日は大変ですが、毎回3時30分(木曜日は2時40分)からの30分が活動時間。

見守り地点は凸版通りと新座中央通りが交わる交差点なので交通量が多く、大型トラックも沢山通ります。東野小裏門から出た生徒達は、まず野火止用水沿い

の細道を100m歩いて凸版通りに出ます。すぐに右折して30m進むと、前方に中央通りを渡る横断歩道と信号が見えます。ですが手前には車が出てくる小道があって危険。ここにSC会員の交通指導員が立って生徒達を安全に通します。



そして生徒達が交差点に到着すると、最初の見守り担当者が横断歩道手前について、赤信号の間中早く渡りたい子供たちに「まだだよ!」と声掛け。

青信号に変わると途端に走り出すので、今度は「走らないで!」と声掛け。信

号が点滅し始めると、遠くから走ってくる子に「はい、ストップ。次を待とう」横断歩道の向こう側にも見守り担当者がいて、のんびり渡る生徒たちに「急ごう。信号が変わるよ」と促す。



最後は凸版通りを渡る横断歩道で、信号が青に変わると向こう側にいる見守り担当者が「はい、みんな渡るよ」と合図。最後は「さようなら。元気でね」と挨拶して見送る。

かける言葉はいろいろだけれど、楽しいコミュニケーションにはほっこり。

(尾形)

誰でもなりうる認知症



市ホームページ

気になる症状はありますか？

通り慣れた道で迷う

料理の手順が分からない

些細なことでイライラする

身なりに気を使わなくなった

約束や予定を繰り返し忘れる

家族や友人との会話が楽しめない

同じものを何度も買ってしまう

片づけや整理整頓ができなくなった



このような症状が増えてきたら、かかりつけ医や地域の高齢者相談センターに相談しましょう

新・健康
ニュース

認知症を正しく理解しましょう
新座市介護保険課介護予防係

「認知症」と「老化」による物忘れの違い

認知症	老化
体験そのものを忘れる	体験の一部を忘れる
食べたこと自体忘れる	何を食べたか忘れる
曜日や場所がわからなくなる	曜日や場所を間違える
性格に変化がある	性格に変化がない

認知症による物忘れは老化による物忘れとは違います。老化による物忘れは忘れたことを自覚していますが、認知症による物忘れは忘れたことを理解できません。

認知症による物忘れとは

認知症とは何らかの原因により脳に障がいが起こることによって、日常生活がうまく行えなくなるような状態のことをいいます。年を重ねれば、誰もがなる可能性がある病気です。超高齢化社会を迎えた日本では、多くの人にとって身近なものとなりました。認知症について正しく理解し、備えることが大切です。

認知症は脳の病気

ください。

認知症は早いうちに発見し、対応することで治療できたり、進行を遅らせることができる場合があります。また、症状が軽いうちに本人が家族と共に認知症について理解を深めることで、その後の生活に備えることができます。認知症になってもその人らしい生活を送るためには、適切な医療と周囲のサポートが不可欠です。心配なことがあれば、ひとりで悩まず、かかりつけ医や地域の高齢者相談センターに御相談

早期発見・早期治療のために

「認知症予防」という言葉を雑誌やテレビでよく見かけると思いますが、しかし残念ながら、現時点では認知症を確実に予防する方法は見つかっていません。しかし、糖尿病や高脂血症などの生活習慣病と、認知症との関連性を示す研究は多くあります。適度な運動とバランスの良い食生活を心がけて生活習慣病を予防することが、認知症の発症を遅らせることにも繋がります。

認知症って予防できるの？

◆情報スクランブル

第20回 リーダー研修会

昨年10月18日に「リーダー研修会」が新座市民会館にて行われました。

当日は福島和男理事長を始め、各理事・地区長・地区委員・正副班長多数の参加がありました。

初めに理事長からシルバ一人材センターの対社会における状況説明がありました。特に「インボイス制度」の導入にいろいろな課題をどの様にクリアしていくか、推移を見守り対応していくとの事でした。



本日の特別講演はダイヤモンド高齡社会研究財団の澤岡誌野さんの「人生100年時代を長く楽しむ続けるタネマキ?」というテーマです。

「健康寿命も大事、でも幸福寿命を長くする為には」如何にしなければいけないかで、お話は展開していき

ました。あなたにとって「楽しむ」とは「どの問いかけに「畑を借りて野菜を作る」「スポーツをする」「美味しい物を食べる」「本を読む」などなど、いろいろ出てきます。

次の質問、あなたにとって「チカバ」とはどこですか。シルバー人材センターは数年後のあなたにとってどんな「居場所」なのでしょうか。

ご自分の楽しみを「一緒に楽しめる」「分け合える」お相手は誰ですか? そんな誰かと出会える場の一つがSCですね。

5年後も10年後も楽しみ続けるために、あなたなら「チカバ」にどんなタネをまきますか?

楽しむ背中、楽しみ続ける背中をみせること、これも誰かのチカラにつながっていくのです。

講演終了後に澤岡さんにインタビューをさせていただきました。

以前にも招かれたそうです。毎回真剣に時には笑いもあり充実した時間でした、とおっしゃっていました。

また、今回は「リーダー」対象でしたが、内容的にはリーダーだけでなくても良かったのではないですか? の問いに「そうですね、又呼んでください」と笑顔で対応して頂きました。

参加者132名。(館)

接遇・電話対応 講習会

昨年11月16日に就業開拓委員会による「接遇・電話対応講習会」がSC会議室で行われました。

講師はアイング株式会社 の浜田幸子氏。電話対応と接遇マナーの「基本5原則」を学びました。

①挨拶(良い第一印象を与える)

②表情(状況に合った表情)
③服装(好感が持たれる身だしなみ)
④態度(接客に必要な基本動作)

⑤言葉づかい(正しい言葉づかい、感じの良い話し方)

私は長年顧客を相手に仕事をしていましたので、意気揚々と受講しました。就業先でもお客様との対面と電話での対応を滞りなく行っていました。

しかし、航空会社の客室乗務員経験者でもある浜田さんの講義には愕然としました。私の今までの対応の仕方は、お恥ずかしい限りです。

再度テキストを読み返して、実践に活かしたいと思いました。受講者12名。(館)

クレーム対応研修

同じく浜田幸子講師による「クレーム対応研修」が12月6日に開かれました。

受講したのは公共施設などの就業者13人。清水陽

介・就業開拓委員長は冒頭、「ちょっとした言葉遣いや対応がクレームになる。私もしょっちゅうあります。直せるところを直しましょう」と挨拶しました。



ロールプレイングで仮想体験

浜田さんはテキストに沿って教えた後、受講者を2〜4人のグループに分けてロールプレイングで仮想体験させる教え方が絶妙でした。「初期対応で、燃え上がるか、ボヤで収まるか分かれます」と誠意をもって対応する傾聴法が一番大切だと説明。

最後に課題事例の対応を練って全員の前で演じたべアたちに、大きな拍手が送られました。(梁川)

言いたい放題 時事 呆言



「現金派？ それともキャッシュレス？」



▶ カードの不正使用に二度遭う ◀

現金、カード半々どっち付かずと言った所か。カードでは不正使用された事が2度程あり、カード会社が負担してくれて実害は無かったが、アレコレ手続きで大騒ぎした。メリットは気づかぬ内にポイントが貯まり得た気分になる。TV・新聞で見聞きするポイントが貯まる情報もあるが、私の場合は微々たるものだ。一方、現金はたいした事件に巻き込まれる事もなく、小銭入れがパンパンになるくらいで安心感がある。高齢になるに従って、手間の掛かる事が面倒になる。ところで、口座と紐づけの無いポイントだけのカードを含めると、財布に入りきれないが、元々お金が無いので同じ事なのだ。（小銭もちでいいノダ 道場76歳男）

▶ チリも積もって小銭数千枚 ◀

妻や子供たちは殆どカードかスマホで精算し、現金はあまり持ち歩かない。「支払楽ちん、小銭いらぬ、ATMに並ばぬ、利用明細もネットで確認できるし、ポイントも貯まるからやれば」とよく言われる。私だって大きな買い物や通販はカード払いだ。スマホ決済は落としたら壊れたらと今一つ踏み切れない。それに私には「チリつも、のお釣りで貯めて小銭が数千枚ある。銀行への小銭入金枚数には制限と手数料が発生してしまうご時世だが、コロナ禍以降スーパー等のレジが自動精算機になり、気兼ねなく小銭を入れられる。大量に残っている小銭を使い切ろうと今は必死なのだ。（自動精算機と小銭の関数に強い男 大和田71歳）

▶ 端末を持った坊さんが読経に来る日 ◀

昨年夏、父の13回忌に行った。出発直前、我が家に現金がないことに気がついた。電車や飛行機や土産物などはカードで決済できるが、香典はそういかない。確かにカード1枚あれば日常生活に支障をきたすことはなくなっているが、近所のクリニックでは現金でなければ診療してもらえないケースがまだ多い。スペインの公衆トイレでは小銭を持ってないと入れてもらえなかったが、今はカード決済に変わっているようだ。13回忌法要のあと、禅寺の住職は現金封筒を袖の下にたくしこんで高級車に乗って帰って行った。坊さんが端末もって読経に訪れる日がくるのだろうかと考えた。（現ナマにリアリズムを感じる男 大和田74歳）

▶ 何と言われようが、現金大好き ◀

友人曰く「私は、現金派よ！何と言われてもね。この間、ショッピングモールでの買い物、混んでいるレジで待っていたら店の人が、お客様あちらの方が早いですよと勧める。改めて並び直したら、なんと、キャッシュレスレジ。カードだの、PayPayだのと言っている。冗談じゃない、私は現金払いよ、と言いつつまた混んでいる方に並び直すことに。最初からキャッシュレスでの支払いはあちらです、とか言えはいいのに」私も同感の現金派。つい先日、市役所から次年度から窓口での現金支払いは取り扱いません、との回覧が来た。友人のように「何と言われても現金派」といえなくなってきた。（なし崩しにされる女 東70歳）

▶ カードの使い過ぎにくれぐれもご注意を ◀

自分の買い物は現金。現金以外は支払いに用いない。遠い過去にカードの使いすぎで、四苦八苦の時を経験したからだ。今では昔話だが、一時は結構つらかったことが忘れられない。単に調子に乗りすぎたのであり、現金かカードか、ということには関係ないのだが、“あつものに懲りて膾を吹く”類のことだ。だが、近頃は徐々にカードを活用してはいる。最近はセルフレジが多くなり、結構空いているからだ。カード買いをして、その費用は同居の女性から現金で回収するので、財布が徐々に膨らんでくる。チョットした楽しみで、頼まれた買い物時に限定にしている。チョット情けない話ではあるな～。（チョットだけよ！ 北野80歳男）

▶ 「小銭は要らぬ」は続かない ◀

2020年からのコロナ禍でキャッシュレスがもてはやされ、少額でも遠慮せずクレジットカードを使えるようになったと思う。そんな中で2022年1月、ゆうちょ銀行が24時間無料だったATMの利用に有料の時間帯を設け、硬貨入出金の際の手数料まで新設した。小銭がうるさくなると気軽にゆうちょATMに放り込んでいた私は、キャッシュレス化を大いに進めた。ただ、さっそうとカードやスマホをかざしても、医者代や頼まれた食材など家計分は帰宅後に妻から現金でもらい、「小銭は邪魔だから」と端数を切り捨てている。明らかに損。小銭も回収しないと破綻する。（なんとかPayだらけの男 北野66歳）

私の ゆうゆう エンタメ

映画 音楽 文学 芸能 スポーツ などなど

会員の皆さんのこれまでの人生で、心に残った経験や作品や1シーンなどをご紹介ください。ジャンルは問いません。約380字と写真やイラストです。

Movie

(野火止7 尾形 三津子)

「沈黙の艦隊 The Silent Service」

1988～96年に連載されたコミック(かわぐちかいじ作)の実写映画。物語は開始早々、深海を潜航する自衛隊艦が米国の原子力潜水艦に接触して沈没圧潰する。しかしこれは日米の偽装工作で、乗員は生存して最新鋭の原潜〈シーバット〉に乗り込む。これは日本が全額出資して日本人が動かす原潜。だが所属は米国艦隊。30年たった今も日本が原潜を持ってない現実に落胆する暇もなく、話は急展開する。海江田艦長は、〈シーバット〉を〈やまと〉と改名する。「理想を実現するためには力がある」という考えで核ミサイルを積載して逃亡し、世界に独立国「やまと」の独立を宣言する。そして米第七艦隊との戦闘後、同盟を結ぶために日本に向かう所で映画が終わる。これは全32巻のうちの4巻位らしい。海中を魚雷が飛び交う戦闘シーンの迫力に息を飲んだ。続編熱望！(監督：吉野耕平、主演：大沢たかお)



Concert

(野火止7 N.O.)

「まだまだ一生懸命」沢田研二 LIVE

沢田研二が75歳の誕生日にコンサートをやるというので、さいたまスーパーアリーナに足を運んでみた。昨年のことだが、私と同年代のスター歌手であり、後期高齢者になった日に「まだまだ一生懸命」というタイトルを背にライブをやる男の生きざまに惹かれるところがあった。

最寄りの駅を降りた所から行列ができていて37000人収容のアリーナはほぼ満員状態。席の前後左右も高齢者とおぼしき人達だった。



幕が開くと沢田は舞台の端から端まで元気いっぱい動き、走り、飛び跳ねながら歌いまくる。そのエネルギーはとても後期高齢者のものとは思えない。

かつての「ザ・タイガース」のメンバー(岸部一徳、森本太郎、腫みのる)が出演していたとはいえ、2時間半の舞台を一人で仕切ったタフさに自分の年齢も忘れるほどに勇気を貰った。帰路、老いに線引きなどいらわないのだ、と呟いた日だった。

Butterfly

(東2 小泉 悦子)

黄アゲハの旅立ち

昨年の9月30日20時頃玄関の黄梅花の枝に一匹の黄アゲハが止まって、車の風圧で揺れてもジッと動かない。何故？しかもアゲハが好きな山椒の木でなく、黄梅花に。これはシャッターチャンスだと思い、スマホを持ち出してライトを当てたが、ビクともしない。

家の雑学博士に聞いてみた。「それは『仮死状態』になっているから、朝まで動かないよ」との事。何故そこに止まったのか、その場所が、この家で一番早く朝日が当たる場所だと知っているからだそうだ。にわかには信じられなかった。



一夜明け10月1日5時50分、日の出はまだ。少し経つと、あたりが白々と明けてきたが、羽は閉じていて昨夜のまま。5時56分大きく羽を広げた。飛び立つ準備らしい。日の出だ。5時59分、羽を大きく広げ2、3回動かし、飛び立っていった。こんな光景を見たのは初めてだった。感動した。因みに蝶の一生は、一週間くらいだそう。

Photographer

(北野3 吉田 紀生)

緑川洋一を知っていますか？

風景写真の巨匠。といっても伝統的な自然観照的な風景ではなく、むしろ華麗で装飾的で、俵屋宗達、尾形光琳のような極めて意匠性の高い物に風景写真を創り上げた希有な作家だ。

私は1970年頃の写真界が、とにかく「リアリズム」という風潮(濱谷浩、篠山紀信など)で、食傷気味のために幻滅していた。



そんな時に緑川洋一の「瀬戸内海旅情」「古城の詩」のアルバムによって、写真の持つ無限の力に衝撃を受けた。1度のシャッターが4～5時間、フィルターは3～4種。その後、二重三重露光の末に作品完成。写真の枠を超えた表現者の出現だった。その時、私は改めて写真をやりたいと思った。大正15年生まれの大先達に、未だに憧れ写真を撮り続けている。

▼▼親睦会だより▲▲

新年を迎え親睦会の活動で仲間づくり

明けまして

おめでたいうけがります

会員の皆様にはお健やかに新しい年をお迎えの事と心からお喜び申し上げます。昨年は親睦会活動にご協力いただきありがとうございます。コロナ感染症も5類になり穏やかな年を迎えました。

今年も親睦会は新座市シルバー人材センターと共に、「益々元気に邁進」を目標に掲げ、会員皆様のご協力、ご鞭撻により「友達の輪を広げ絆を深める」をモットーに前進する意気込みです。

親睦会会長 後藤勝義

【今後の予定】

◆「新春のつどい」1月17日

センター・親睦会共催

◆「親睦会文化祭」

初めての親睦会単独開催

◆「春の日帰り旅行」

5月実施予定

日程・行先検討中

秋の日帰りバス旅行

寒さの増してきた11月26日(日)と27日(月)に2グループに分かれて日帰りバス旅行が行われました。第一グループは、26日の朝7時に全員集合し定刻通り出発。朝方曇天でしたが、途中青空が広がり富士山が顔を出しました。圏央道↓東名御殿場IC↓仙石原↓箱根へ。



晴れやかに顔を出した富士山

27日は渋滞もなく、小田原厚木道路↓箱根湯本駅前↓山道を登り箱根へ。ここは箱根駅伝・第5区間の急峻な坂道(高低差860m)で上るも地獄下るも地獄、いくつものドラマが展開されています。

バスの中はガイドさんの楽しいトークで大盛り上がり。10時30分頃には、大涌谷に到着。

ここはその昔2度の噴火で形成され、今でも1000度近い熱水が噴出しているそうです。



黒たまごを味わう後藤会長 (中央)

それに浸して出来たのが名物「黒たまご」です。1つ食べれば7年長生きが出来るとか。

次に、箱根神社に参詣後、

箱根の関所を見学。

その後、すぐ隣の「箱根関所旅物語館」で昼食となりました。

窓から見えるモミジも日差しに透けてとてもきれいでした。皆さん大変喜んで満足していました。



箱根関所旅物語館の昼食メニュー

お土産は小田原の蒲鉾「鈴廣本店」に寄りました。帰りのバスでは、ガイドさんが「箱根の山」を歌い出すと、皆で合唱になり楽しい時が流れました。

その後は、恒例の最後までとことんやり切るビンゴ大会。ハズレなし、大小の景品に差は一切なし。ビンゴと声がかかる度に拍手喝采の大盛り上がりとなりました。

集合時間に遅れる人もなく、事故もなく、無事に帰宅の途につきました。

サークル紹介

ゆうゆうハイキングクラブ

現在は活動を再開し、年6回程度出かけています。

昨年9月23日は生田緑地(川崎市・多摩区)でした。榊形山までは結構な登りでしたが、何とか全員たどり着くことができました。

天候が微妙だったため、あまり期待していなかったのですが、展望台からの眺めは、なかなか爽快で疲れも吹き飛びました。

今年度は残り2回、2月にはアンデルセン公園、4月にはお花見を兼ね駒込周辺を歩く予定です。毎回4〜7km程度歩きます。会員の皆様、一緒に歩きましょう。



理事会報告

第7回 (10月30日開催)

① 正会員 (10月分) 男性11名、女性5名、合計16名の新規正会員の入会が承認された。

【10月末日現在1、727名】

② 9月分の実績について報告された。



③ 「令和5年度公益社団法人シルバー人材センター補正予算 (第2号)」について承認された。

第8回 (11月29日開催)

① 正会員 (11月分) 男性7名、女性6名、合計13名の新規正会員の入会が承認された。

【11月末日現在1、732名】

② 10月分の実績について報告された。

③ 「令和5年度公益社団法人シルバー人材センター補正予算 (第3号)」について承認された。

④ 「令和5年度中間決算監査講評」が報告された。

成年後見講座修了

昨年11月22日、令和5年度成年後見養成講座履修証明書授与式が行われた。



福島和男理事長から、30時間のカリキュラムを修了した5名の修了生並びに学び直しの元修了生・スタッフに対して「今講座をきっかけに、SCに活力を付けて欲しい」との温かいエールが送られた。

その後、修了生を代表して、小泉悦子さんが挨拶し、「今迄知らなかった世界を経験する事が出来、惜しむべきはもっと早く受講すべきであった」と述べ、講師スタッフに感謝の言葉を添えた。

フリーランスのジャーナリスト・長谷川学さんの記念講演が行われた。

「後見制度の現場で今何が起きているのか」反骨の記者が語る具体的な体験談に、怒りとも、失望とも、共感しながら一縷の灯りを見る事が出来た講演だった。

新座市シルバー人材センターの成年後見活動は法人後見として独自の存在感を持ち、周囲からの期待も大きい。今後の活躍が望まれる。(太刀川)

事務局職員の自己紹介

はじめまして。10月1日より新座市シルバー人材センターに入社しました、新西一輝と申します。

出身地は東京・練馬区です。趣味はスポーツ観戦。



幅広いスポーツを観ますが、特にサッカーを観ます。センターでは皆様のお力になれるよう日々努力し、1日でも早く仕事を覚えられるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

訃報

久木田 義弘様 (87歳) 堀之内3丁目

小野寺 東男様 (80歳) 大和田5丁目

榊原 檀男様 (82歳) 野火止1丁目

酒井 幸江様 (69歳) 西堀2丁目

村上 智恵子様 (80歳) 新座3丁目

高橋 文雄様 (77歳) 野寺4丁目

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

【表紙の呟き】

紅梅・白梅と二つ並ぶと、どうしても目は紅梅に行く。紅梅の持つある種の妖艶な雰囲気があるのだから。

一方、白梅には清楚な潔さを感じてしまう。じっと見るのはどちらかと云えば、白梅に軍配を上げる。(吉田)

編集後記

新年号は「絵馬」に託して今年の抱負を語って頂きました。

現役の時全国を17箇所も転動された話をしてくださった方もおられました。さぞや子供たちは可哀想だと思いきや、反対に各地に友達ができて、今もお付き合いをされているとのことでした。もっと驚いたことは、子供たち全員がお父さんと同じ道を歩んでいる事です。父は偉大な方です。取材を通してそれぞれの人生のページを垣間見させて頂き「ほっこり」とした時間を頂きました。今年もより一層中身の濃い編集に取り組んで参ります。多くの会員の投稿を待ちしております。(館)